

	設問	回答																																
Q1	<p>市町村別の人口比を無視する形で、全ての市町村から一律350人を選ぶ形で実施されていることを知っていましたか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地域</th> <th colspan="2">県民人口</th> <th colspan="2">アンケート回答者</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>比率</th> <th>人数</th> <th>比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大津</td> <td rowspan="2">688576</td> <td rowspan="2">48.8%</td> <td>933</td> <td rowspan="2">32.3%</td> </tr> <tr> <td>南部</td> </tr> <tr> <td>甲賀</td> <td>143315</td> <td rowspan="3">37.2%</td> <td>291</td> <td rowspan="3">32.3%</td> </tr> <tr> <td>東近江</td> <td>227048</td> <td>589</td> </tr> <tr> <td>湖東</td> <td>155382</td> <td>624</td> </tr> <tr> <td>湖北</td> <td rowspan="2">198094</td> <td rowspan="2">14.0%</td> <td rowspan="2">455</td> <td rowspan="2">15.7%</td> </tr> <tr> <td>高島</td> </tr> </tbody> </table>	地域	県民人口		アンケート回答者		人数	比率	人数	比率	大津	688576	48.8%	933	32.3%	南部	甲賀	143315	37.2%	291	32.3%	東近江	227048	589	湖東	155382	624	湖北	198094	14.0%	455	15.7%	高島	はい いいえ
地域	県民人口		アンケート回答者																															
	人数	比率	人数	比率																														
大津	688576	48.8%	933	32.3%																														
南部																																		
甲賀	143315	37.2%	291	32.3%																														
東近江	227048		589																															
湖東	155382		624																															
湖北	198094	14.0%	455	15.7%																														
高島																																		
Q2	<p>アンケートは主に郵送調査で実施し、回収率も40.6%で、県人口構成と著しく異なる回答者年代となっていることを知っていましたか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>県民人口比</th> <th>アンケート回答者比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65歳以上</td> <td>26%</td> <td>43.3%(+17%)</td> </tr> <tr> <td>70歳以上</td> <td>20%</td> <td>33.2%(+13%)</td> </tr> </tbody> </table>	年齢	県民人口比	アンケート回答者比	65歳以上	26%	43.3%(+17%)	70歳以上	20%	33.2%(+13%)	はい いいえ																							
年齢	県民人口比	アンケート回答者比																																
65歳以上	26%	43.3%(+17%)																																
70歳以上	20%	33.2%(+13%)																																
Q3	<p>Q1～2による二重の偏りと以下のような誘導的な説明文があり、また、追加負担額の例もないため妥当性に疑問がある本アンケート結果が、第2回滋賀交通ビジョン見直しに向けた懇話会で使用されたことを知っていますか？</p> <p><b>4. 公共交通の現状を踏まえた上で、新たな費用負担について以下にお答えください。</b></p> <p><b>Q4-1 公共交通の維持(現状の運行本数等のサービスレベルの維持)に関してお尋ねします。</b>  あなたは維持に必要な費用(運賃以外)を一部負担しても良いと思いますか。(1つ選び○をつけてください)  (負担金は運行経費・車両維持費に対する補てん、等の公共交通の維持に活用すると想定してください)</p> <p>維持のための負担をしなかった場合 赤字が続き公共交通が廃止され、高齢者等の移動が不便になるおそれがあります。またその移動支援のために税が使われ、交通以外の市民サービスも相対的に低下するおそれがあります。</p> <p>1. 思う    2. どちらかと言えばそう思う    3. どちらかと言えば思わない  4. 思わない    5. 思わないが負担はやむを得ない  (理由: _____)</p> <p><b>Q4-2 公共交通への投資(運行本数の増便等のサービスレベルの向上)に関してお尋ねします。</b>  あなたは投資に必要な費用(運賃以外)を一部負担しても良いと思いますか。(1つ選び○をつけてください)  (負担金は運行本数の増便、路線の新設・再編、等のサービスレベルの向上に活用すると想定してください)</p> <p>投資のための負担をした場合 サービスレベルが維持または改善され、公共交通の利便性が向上し、利用しやすくなります。</p> <p>1. 思う    2. どちらかと言えばそう思う    3. どちらかと言えば思わない  4. 思わない    5. 思わないが負担はやむを得ない  (理由: _____)</p>	はい いいえ																																

Q4	本アンケートの実施期間、委託先のパシフィックコンサルタンツ株式会社が2019年の富山市官製談合で2022年6月29日に有罪判決を受け、国土交通省から建設コンサルタント登録資格停止中であったことを知っていましたか？（本件の契約期間：2022年5月24日～2023年3月31日）	はい いいえ
Q5	交通インフラを主要業務の一部とする事業者が、交通環境経費の検討に資する県民アンケート調査の委託事業者となることについて賛成・反対をお答えください。	賛成 反対
Q6	本アンケート調査を地域や年代を正確に反映する形で、アンケート調査をやり直すべきだと思いますか。	賛成 反対
Q7	県民に交通税として新たな税負担を求めることや、大幅な経費のかかる事業を展開することに関するアンケートを設計する際、アンケートの設問が適切なものとなるよう、調査票や調査方法自体にパブリックコメントの機会を設けるべきだと思いますか。賛成・反対をお答えください	賛成 反対
Q8	交通税の導入に対する賛成・反対	賛成 反対
	自由記載（500文字以内）	

連絡方法 メール、SNS、お問い合わせフォームなどより。

所属政党や会派がある方は所属政党や会派のホームページからも連絡